

第三種郵便物認可

岩手県でコメを使った環境に優しい循環プロジェクトに取り組んでいる「マイムマイム奥州」のメンバーを招いたトークセッションがこのほど、高松市役所1階市民ホールであり、団体の代表者らが温暖化防止につながるソーシャルビジネスを発表し、循環型社会構築の重要性などを訴えた。

# コメで循環型社会構築

循環型社会構築を目指した活動を発表するトークセッション―高松市役所



## 高松 岩手の団体、取り組み発表

県内でうどんを使った循環システムの構築に取り組む「うどんまるごと循環コンソーシアム」が、両団体の活動を広く市民らに紹介しようと開催した。

「マイムマイム奥州」では、休耕田で栽培した非食用米を発酵させ、エタノールを製造。農機具の燃料として使用するほか、製造後の残りかすを鶏の餌として利用し、消臭スプレーやせっけんなどの商品も開発しているという。

原料米を栽培する佐藤功さんは「すべての土地でコメを作り、エネルギー自給や商品開発につなげる。これも農業の一つの形態」と述べ、代表の及川久仁江さんは「(取り組みが)誰にでもできるということを広く発信し、子々孫々に伝わる生き方を私たちが示していきたい」と今後の活動への思いを語った。